

第7回 救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ^o 説明資料

日本の救急医療における 民間病院の役割について

令和4年10月5日

一般社団法人 日本医療法人協会

会長 加納 繁 照

全国に占める割合をみると・・・

公的は

病院数の

2 割

病床数の

3 割

救急搬送数の

4 割

民間は

病院数の

8 割

病床数の

7 割

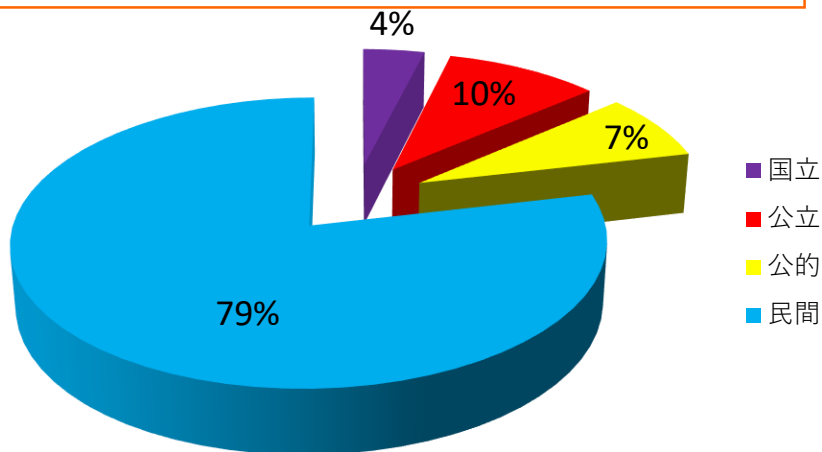
救急搬送数の

6 割 **の法則**

民間病院が急性期も慢性期も精神科も全て支えている！

全国の 病院数・病床数・救急搬送数割合

設立主体別病院数の割合（令和2年）



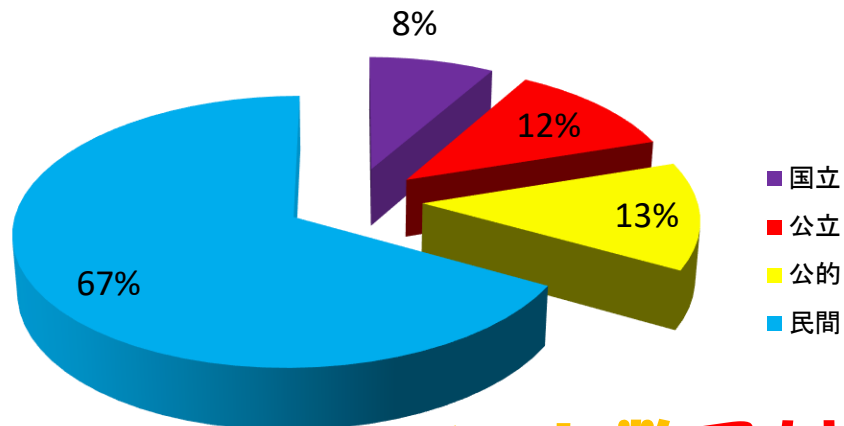
病院数 8割

全国の病院数 **8,238病院**

々 病床数 **1,507,526床**

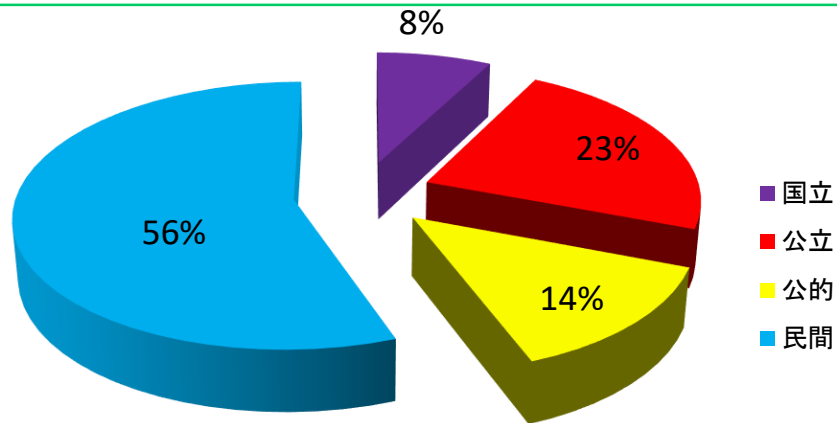
々 救急搬送数 **5,289,711件**

設立主体別病床数の割合（令和2年）



ベット数 7割

全救急搬送数に占める医療機関別の割合（令和2年）



救急搬送受け入れ数 6割

令和2年度 全国医療機関別救急搬送人員の状況

ピンク色の下線は民間50%以上

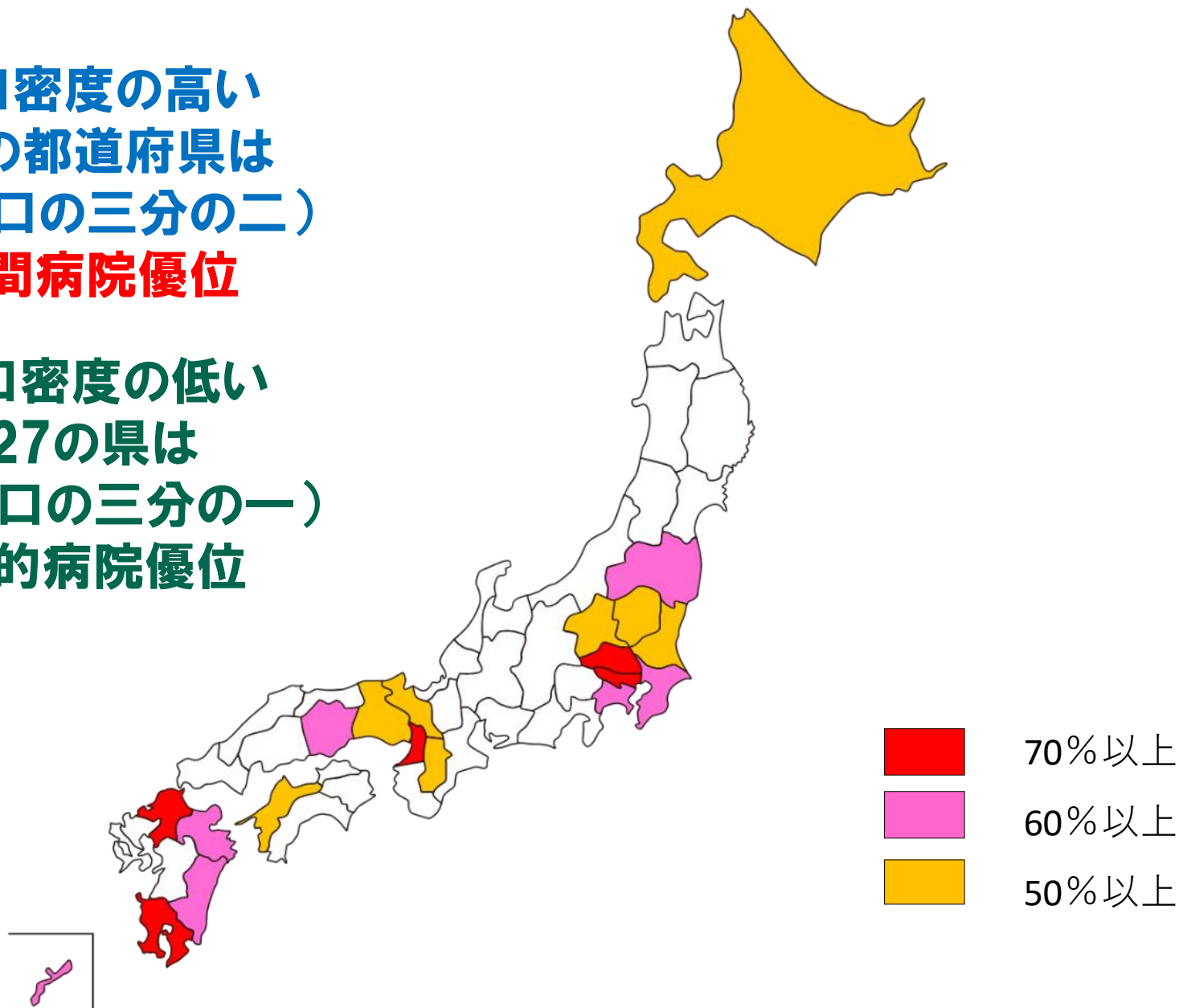
	人口 (千人)	救急搬送人員						割合(%)					
		救急搬送人員			民間医療機関①+②		合計	国立	公立	公的	民間	民間	民間
		国立	公立	公的	病院①	診療所②		国立	公立	公的	①+②	病院①	診療所②
北海道	5,225	12,365	50,428	31,020	111,585	9,729	215,127	6%	23%	14%	56%	52%	5%
青森	1,238	4,707	25,241	3,538	7,360	1,120	41,966	11%	60%	8%	20%	18%	3%
岩手	1,211	670	31,838	5,990	5,414	637	44,549	2%	71%	13%	14%	12%	1%
宮城	2,302	10,697	27,695	10,578	39,288	1,917	90,175	12%	31%	12%	46%	44%	2%
秋田	960	2,406	11,439	16,251	4,937	69	35,102	7%	33%	46%	14%	14%	0%
山形	1,068	2,274	26,133	2,400	6,575	251	37,633	6%	69%	6%	18%	17%	1%
福島	1,833	2,597	13,065	8,680	44,576	931	69,849	4%	19%	12%	65%	64%	1%
茨城	2,867	8,337	7,244	32,238	60,533	1,526	109,878	8%	7%	29%	56%	55%	1%
栃木	1,933	5,595	4,705	22,250	33,796	1,833	68,179	8%	7%	33%	52%	50%	3%
群馬	1,939	9,305	17,402	10,123	37,752	1,180	75,762	12%	23%	13%	51%	50%	2%
埼玉	7,345	12,700	34,132	19,915	207,323	7,017	281,087	5%	12%	7%	76%	74%	2%
千葉	6,284	17,940	43,522	22,277	177,005	5,407	266,151	7%	16%	8%	69%	67%	2%
東京	14,048	46,637	68,324	37,117	473,282	4,302	629,662	7%	11%	6%	76%	75%	1%
神奈川	9,237	24,157	82,420	36,150	249,431	2,299	394,457	6%	21%	9%	64%	63%	1%
新潟	2,201	4,777	25,448	25,685	25,451	3,062	84,423	6%	30%	30%	34%	30%	4%
富山	1,035	2,628	19,693	12,225	2,929	198	37,673	7%	52%	32%	8%	8%	1%
石川	1,133	3,537	17,771	3,092	12,725	256	37,381	9%	48%	8%	35%	34%	1%
福井	767	2,839	9,067	6,318	6,273	314	24,811	11%	37%	25%	27%	25%	1%
山梨	810	2,393	16,076	2,563	11,493	729	33,254	7%	48%	8%	37%	35%	2%
長野	2,048	6,813	24,436	29,581	20,230	699	81,759	8%	30%	36%	26%	25%	1%
岐阜	1,979	1,848	34,131	17,109	21,904	255	75,247	2%	45%	23%	29%	29%	0%
静岡	3,633	11,802	67,140	18,375	36,247	5,478	139,042	8%	48%	13%	30%	26%	4%
愛知	7,542	23,785	95,891	48,430	125,144	1,652	294,902	8%	33%	16%	43%	42%	1%
三重	1,770	6,669	30,630	26,041	16,779	897	81,016	8%	38%	32%	22%	21%	1%
滋賀	1,414	4,314	22,275	15,794	10,542	76	53,001	8%	42%	30%	20%	20%	0%
京都	2,578	10,401	18,590	20,095	67,671	213	116,970	9%	16%	17%	58%	58%	0%
大阪	8,838	21,529	54,519	48,021	348,863	3,132	476,064	5%	11%	10%	74%	73%	1%
兵庫	5,465	12,654	77,496	19,709	122,443	2,981	235,283	5%	33%	8%	53%	52%	1%
奈良	1,324	1,026	26,243	3,371	32,958	370	63,968	2%	41%	5%	52%	52%	1%
和歌山	923	5,741	17,158	10,221	9,714	826	43,660	13%	39%	23%	24%	22%	2%
鳥取	553	6,508	8,450	2,666	5,434	150	23,208	28%	36%	11%	24%	23%	1%
島根	671	5,618	11,009	7,362	2,924	65	26,978	21%	41%	27%	11%	11%	0%
岡山	1,888	6,813	10,277	8,976	49,887	1,410	77,363	9%	13%	12%	66%	64%	2%
広島	2,800	14,462	29,421	14,655	43,179	4,574	106,291	14%	28%	14%	45%	41%	4%
山口	1,342	15,580	9,809	13,654	14,051	2,721	55,815	28%	18%	24%	30%	25%	5%
徳島	720	1,178	12,034	9,242	6,553	574	29,581	4%	41%	31%	24%	22%	2%
香川	950	7,561	13,011	7,539	10,697	998	39,806	19%	33%	19%	29%	27%	3%
愛媛	1,335	2,484	14,886	10,781	29,804	998	58,953	4%	25%	18%	52%	51%	2%
高知	692	3,844	9,891	6,386	15,389	507	36,017	11%	27%	18%	44%	43%	1%
福岡	5,135	12,807	17,389	22,750	159,957	1,736	214,639	6%	8%	11%	75%	75%	1%
佐賀	811	7,216	4,804	3,849	13,603	1,344	30,816	23%	16%	12%	49%	44%	4%
長崎	1,312	9,649	16,348	8,994	20,324	1,674	56,989	17%	29%	16%	39%	36%	3%
熊本	1,738	14,794	14,262	22,324	21,623	1,762	74,765	20%	19%	30%	31%	29%	2%
大分	1,124	5,579	5,783	4,547	28,666	1,206	45,781	12%	13%	10%	65%	63%	3%
宮崎	1,070	2,237	10,178	1,199	20,508	4,699	38,821	6%	26%	3%	65%	53%	12%
鹿児島	1,588	4,495	13,744	1,906	46,276	5,388	71,809	6%	19%	3%	72%	64%	8%
沖縄	1,467	1,676	18,637	3,873	39,819	43	64,048	3%	29%	6%	62%	62%	0%
全国	126,146	405,644	1,220,085	715,860	2,858,917	89,205	5,289,711	8%	23%	14%	56%	54%	2%

出典：総務省消防庁「令和3年版 救急・救助の現況」、厚生労働省「医療施設調査(令和2年10月1日)」より加納繁照作成

令和2年 救急搬送数における民間医療機関が占める都道府県別割合

人口密度の高い
20の都道府県は
(総人口の三分の二)
民間病院優位

人口密度の低い
27の県は
(総人口の三分の一)
公的病院優位



日本の総人口に
占める割合

70%を超える

埼玉県・東京都・福岡県・**大阪府**

鹿児島県

(計5都府県)

36,954千人

29.2%

60%を超える

上記 + 千葉県・岡山県・大分県・福島県

宮崎県・神奈川県・沖縄県

(計12都府県)

59,857千人

47.4%

50%を超える

上記 + 京都府・茨城県・北海道・兵庫県

栃木県・愛媛県・奈良県・群馬県

(計20都道府県)

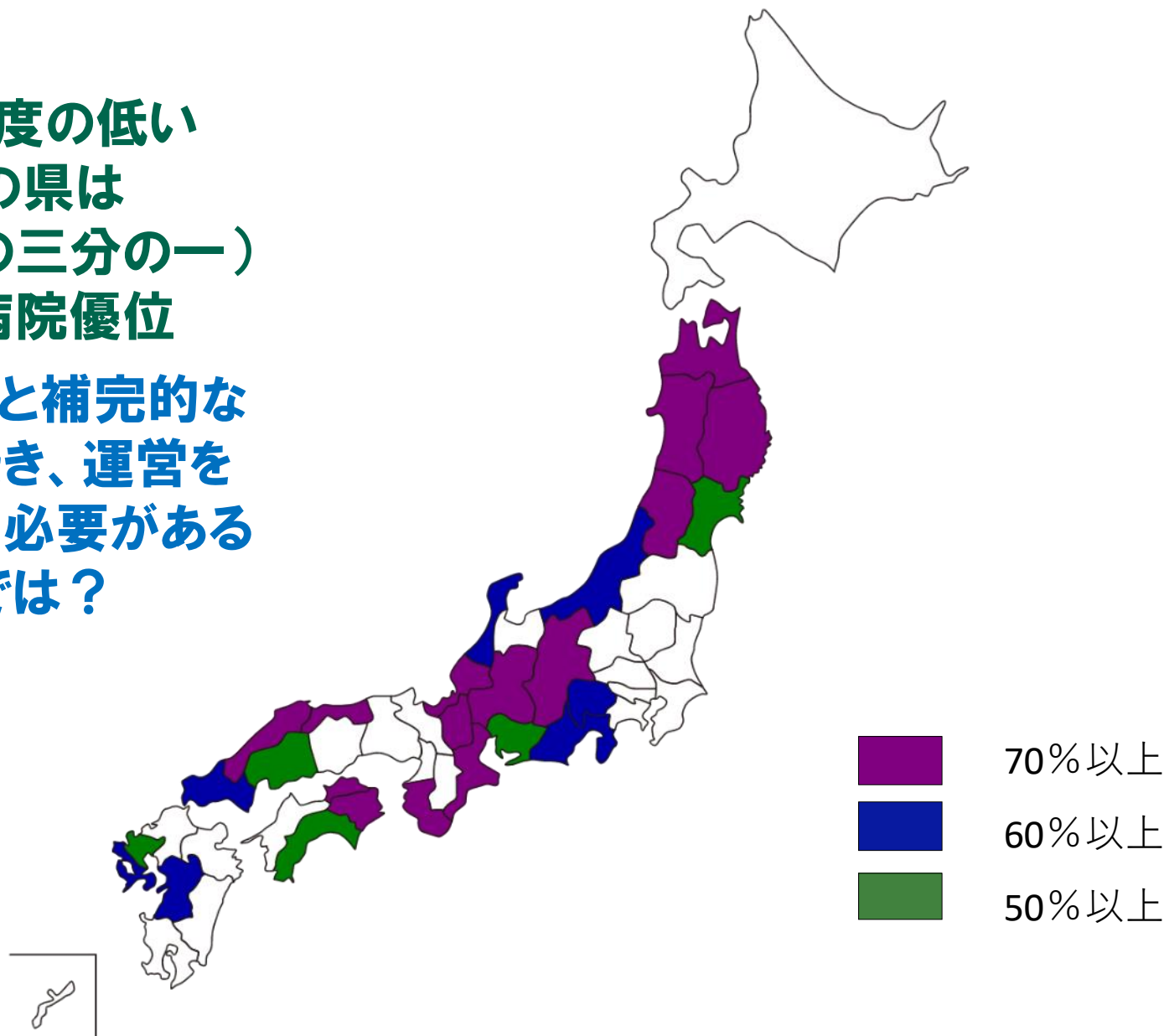
82,523千人

65.4%

令和2年 救急搬送数における公的医療機関が占める都道府県別割合

人口密度の低い
27の県は
(総人口の三分の一)
公的病院優位

公的病院と補完的な
関係を築き、運営を
行ってゆく必要がある
のでは？



令和2年 救急搬送数における公的医療機関が占める都道府県別割合

日本の総人口に
占める割合

70%を超える

富山県・島根県・岩手県・秋田県・山形県
滋賀県・青森県・三重県・鳥取県・徳島県
和歌山県・長野県・福井県・香川県・岐阜県
(計15県) 17,307千人

13.7%

60%を超える

上記 + 静岡県・山口県・熊本県・新潟県
石川県・山梨県・長崎県
(計22県) 29,476千人

23.3%

50%を超える

上記 + 愛知県・高知県・広島県・宮城県・佐賀県
(計27県) 43,623千人

34.5%

愛知県を除くと…

計26県 36,081千人

28.6%

令和2年 救急搬送数における民間医療機関が占める都道府県別順位

民間優位

順位	都道府県名	民間の割合
1	埼玉	76%
2	東京	76%
3	福岡	75%
4	大阪	74%
5	鹿児島	72%
6	千葉	69%
7	岡山	66%
8	大分	65%
9	福島	65%
10	宮崎	65%
11	神奈川	64%
12	沖縄	62%
13	京都	58%
14	茨城	56%
15	北海道	56%
16	兵庫	53%
17	栃木	52%
18	愛媛	52%
19	奈良	52%
20	群馬	51%

(民間割合50%以上 都道府県)

20都道府県の人口合計 82,523千人
日本の総人口に占める割合 65.4%

公的優位

順位	都道府県名	民間の割合
21	佐賀	49%
22	宮城	46%
23	広島	45%
24	高知	44%
25	愛知	43%
26	長崎	39%
27	山梨	37%
28	石川	35%
29	新潟	34%
30	熊本	31%
31	山口	30%
32	静岡	30%
33	岐阜	29%
34	香川	29%
35	福井	27%
36	長野	26%
37	和歌山	24%
38	徳島	24%
39	鳥取	24%
40	三重	22%
41	青森	20%
42	滋賀	20%
43	山形	18%
44	秋田	14%
45	岩手	14%
46	島根	11%
47	富山	8%

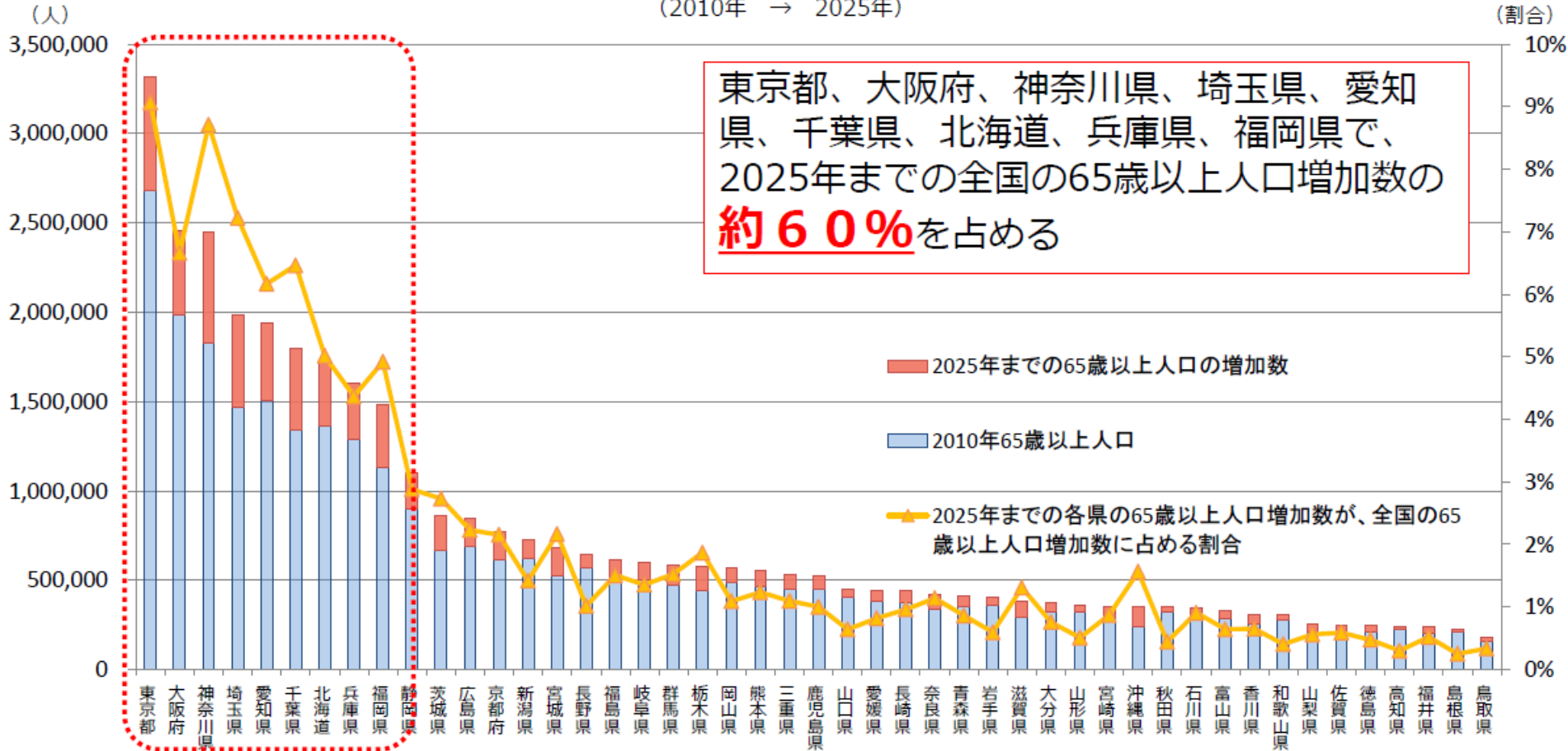
(民間割合50%未満 県)

27県の人口合計 43,623千人
日本の総人口に占める割合 34.5%
※愛知県を除いた場合
26県の人口合計 36,081千人
日本の総人口に占める割合 28.6%

高齢者数増加の地域差について

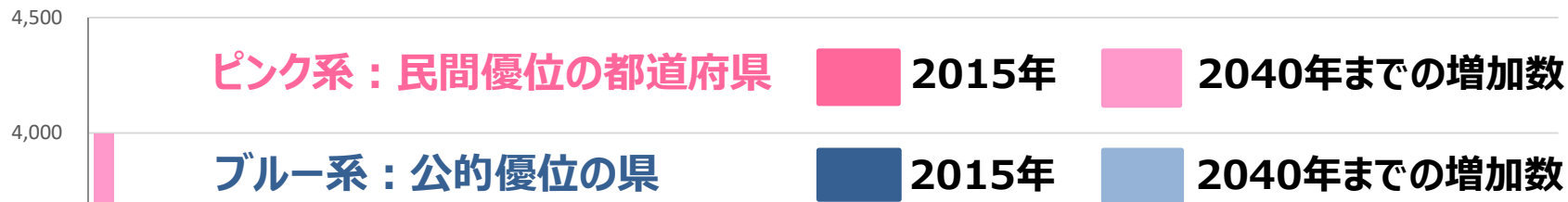
○ 高齢化の進展には地域差があり、今後、首都圏をはじめとする都市部を中心に、高齢者数が増加することが予想される。

都道府県別高齢者人口（65歳以上）の増加数
(2010年 → 2025年)



出典：国勢調査（平成22年）
国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成24年1月）」

高齢者人口（65歳以上）の増加数（2015年 → 2040年）

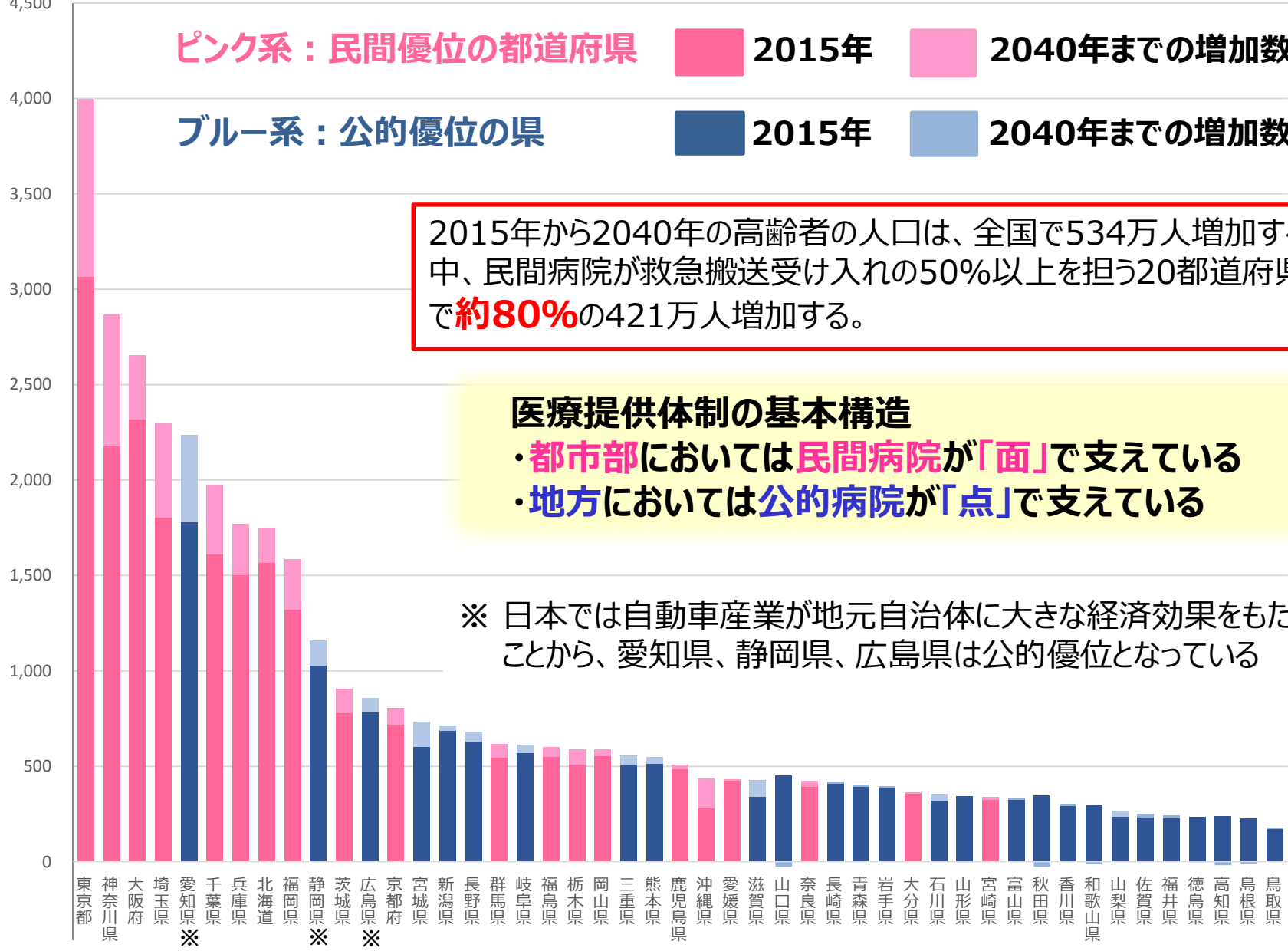


2015年から2040年の高齢者の人口は、全国で534万人増加する中、民間病院が救急搬送受け入れの50%以上を担う20都道府県で**約80%**の421万人増加する。

医療提供体制の基本構造

- ・都市部においては民間病院が「面」で支えている
- ・地方においては公的病院が「点」で支えている

※ 日本では自動車産業が地元自治体に大きな経済効果をもたらすことから、愛知県、静岡県、広島県は公的優位となっている



**2021年10月
日本医療法人協会公表資料**

東京・大阪・沖縄における コロナ禍での民間病院の役割

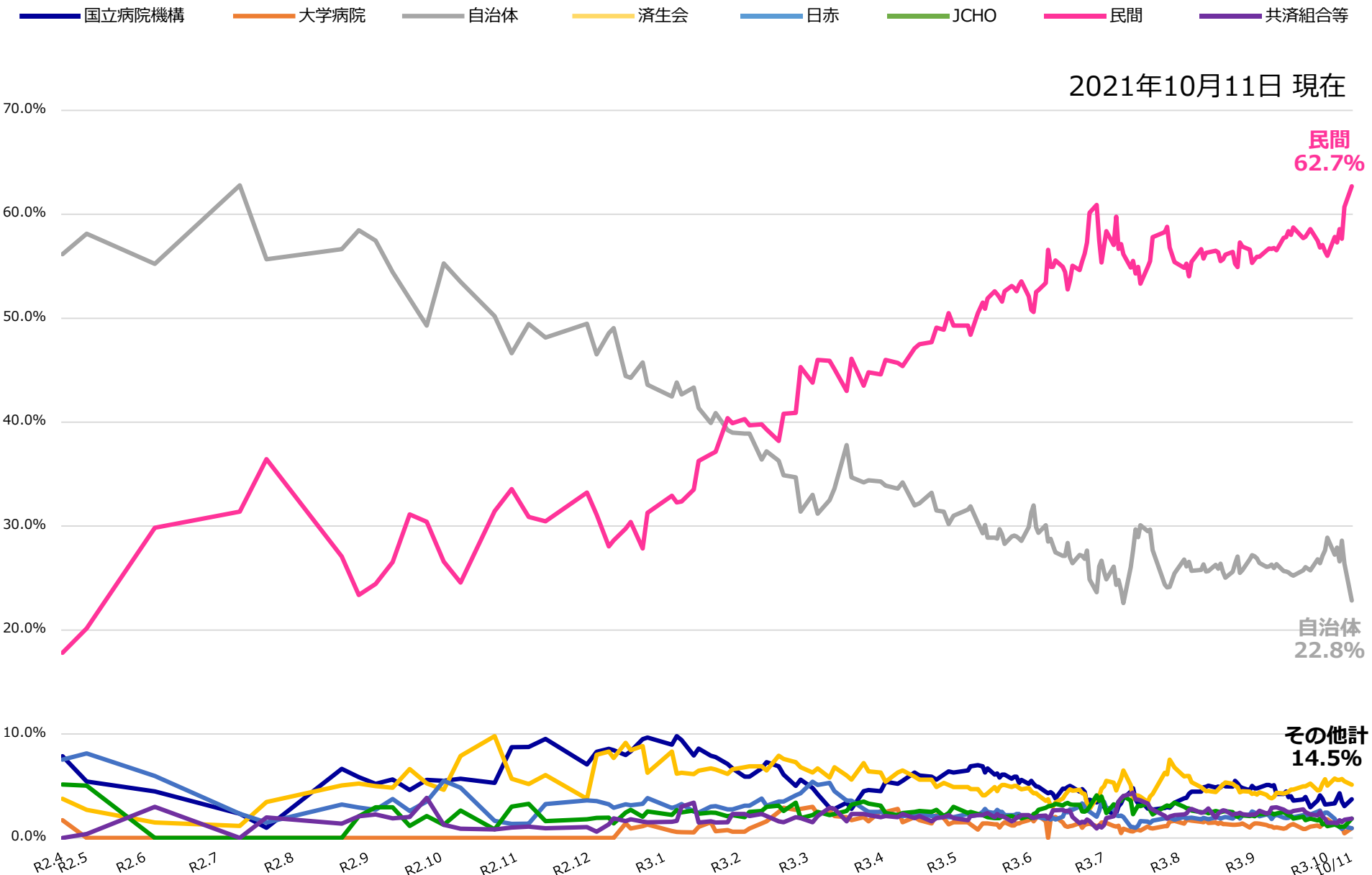
日本医療法人協会

2021年10月15日 作成資料

大阪府

大阪府コロナ患者（軽症～中等症）入院実数 設置主体別の割合

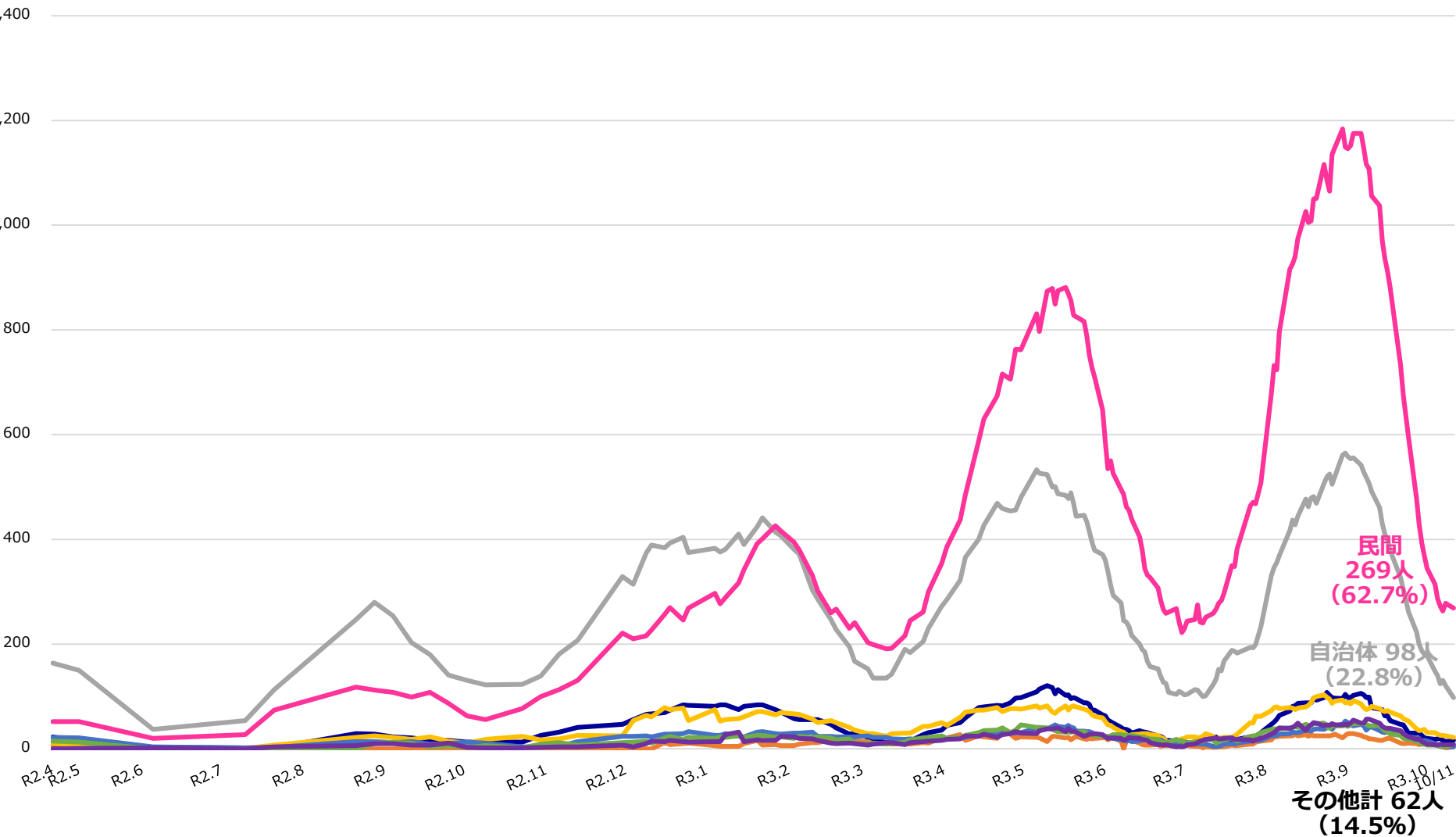
2021年10月11日 現在



大阪府コロナ患者（軽症～中等症）設置主体別入院実数と割合

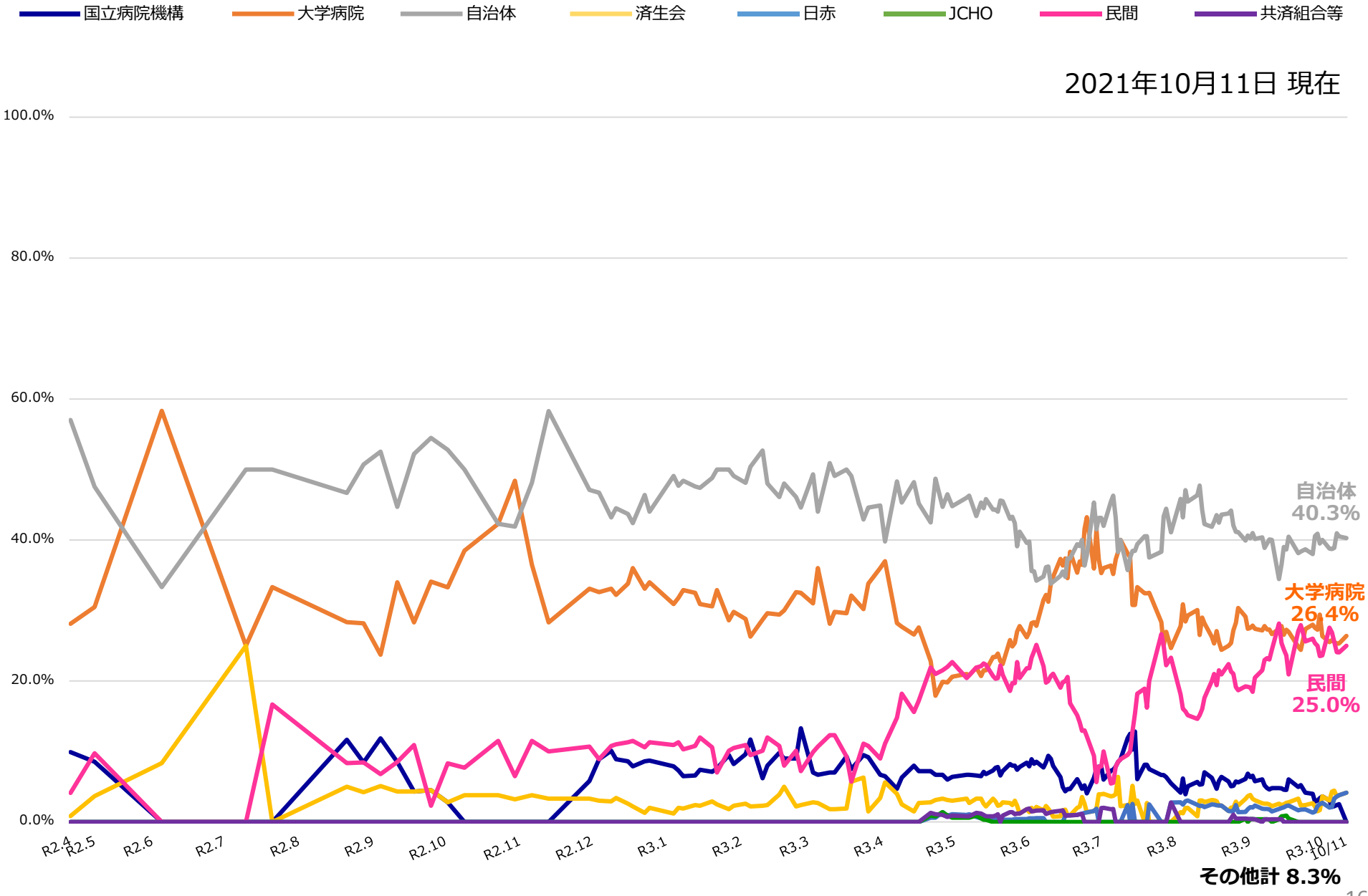
■ 国立病院機構 ■ 大学病院 ■ 自治体 ■ 済生会 ■ 日赤 ■ JCHO ■ 民間 ■ 共済組合等

2021年10月11日 現在

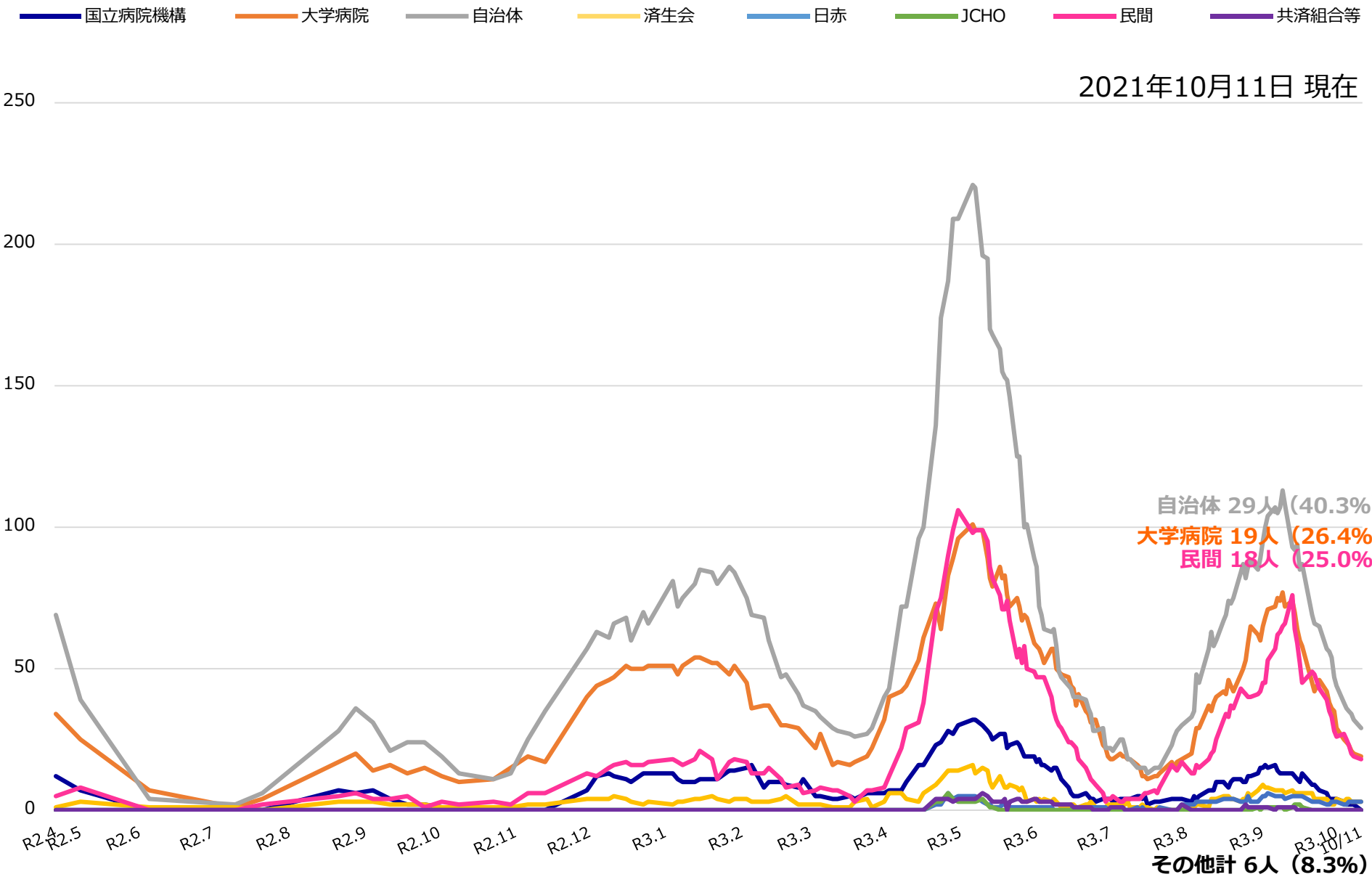


大阪府コロナ患者（重症）入院実数 設置主体別の割合

2021年10月11日 現在



大阪府コロナ患者（重症）設置主体別入院実数と割合



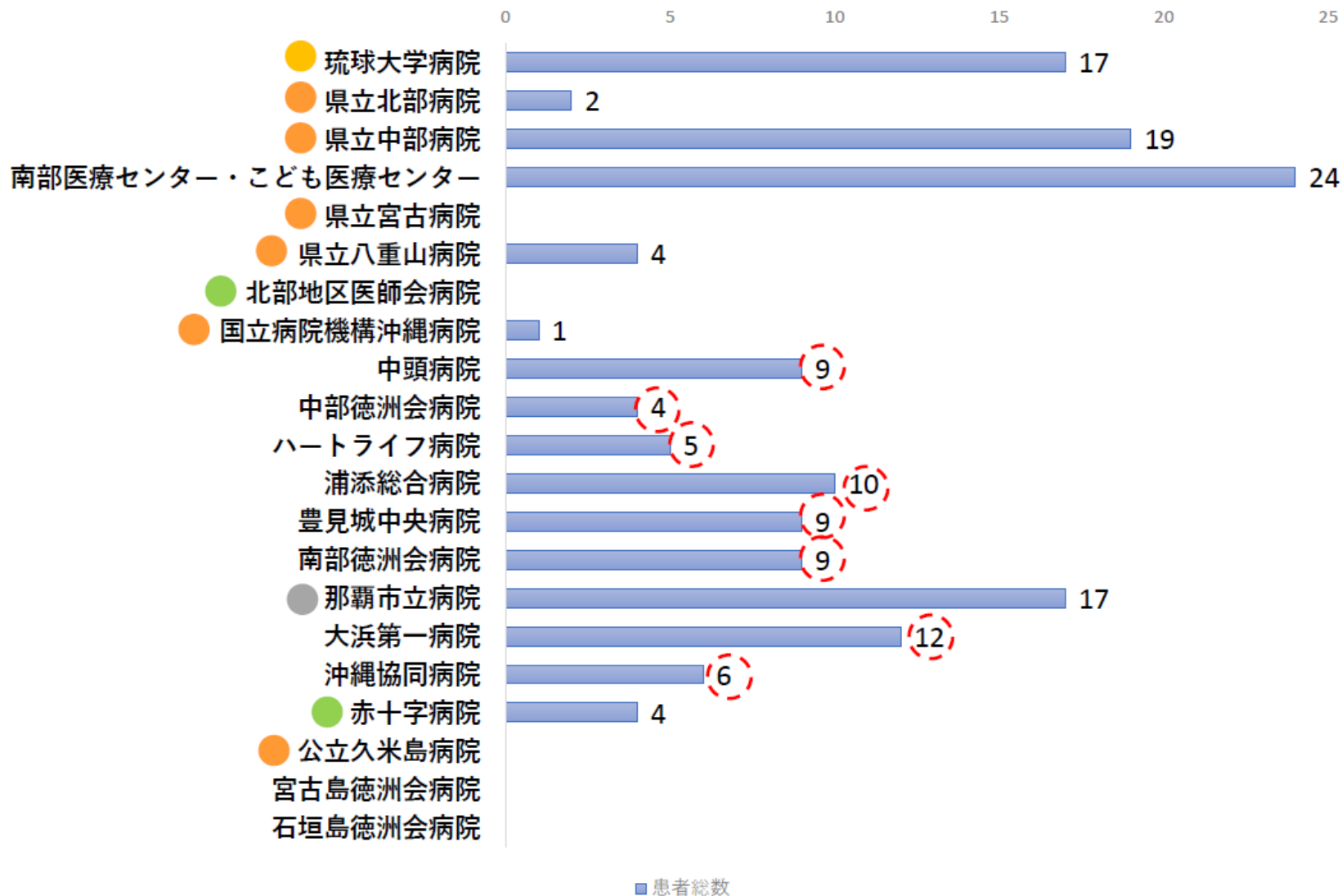
沖縄県

第一波(2020年4月8日～6月18日)

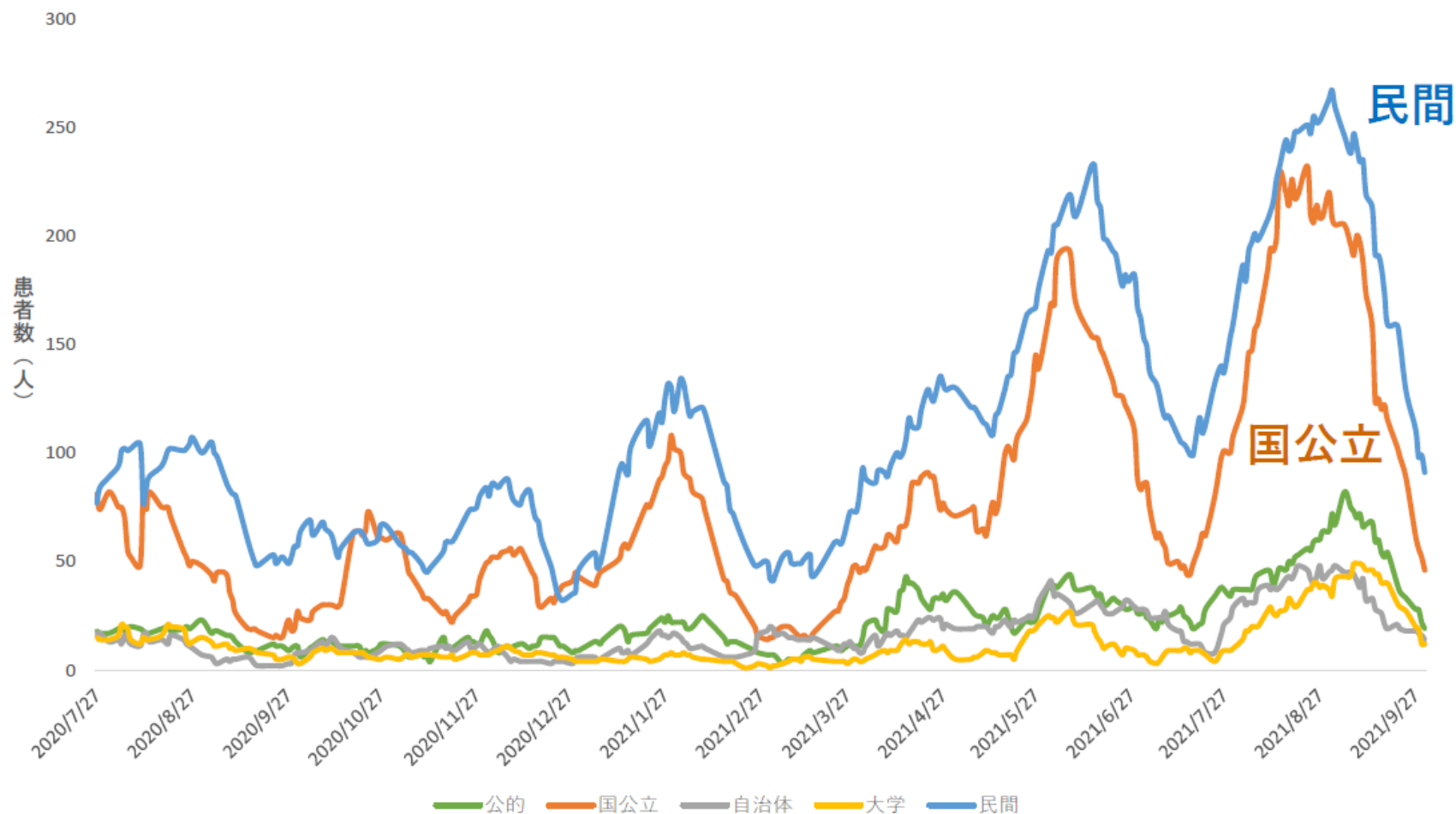
出典: 沖縄県新型コロナウイルス対策本部会議

重点病院

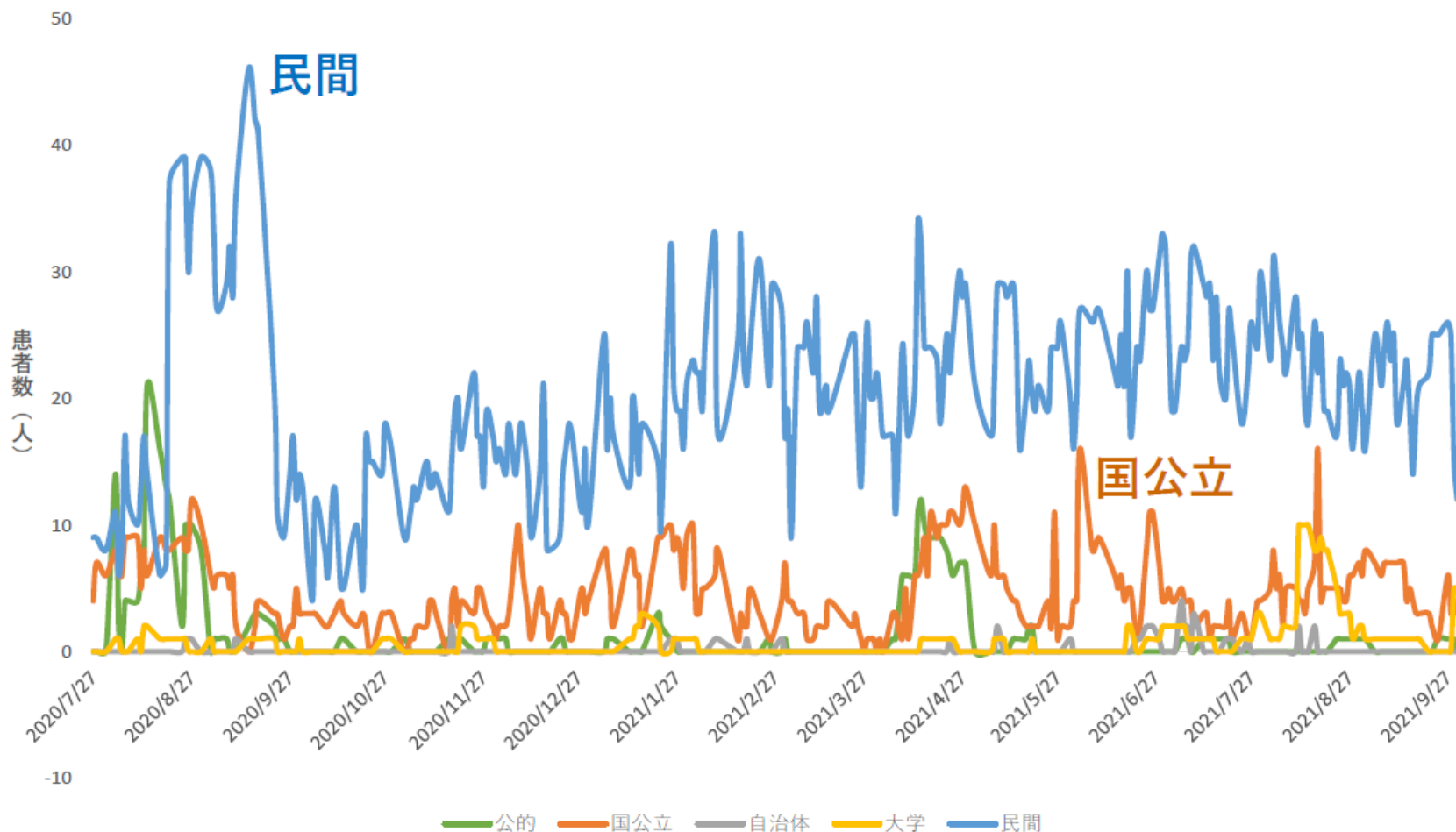
協力病院



陽性者受入数



疑似症受入数



東京都

東京都におけるコロナ延べ入院患者数（設置主体別）

延べ入院患者数（人）

国立病院	4,883
都立、公社、公立病院	19,924
公的病院	11,127
私立大学病院	12,697
民間病院	20,732
合計	69,363

サマリー

- 昨年末以降、厚労省からのデータをもとにマスコミにより民間病院のコロナ医療への参画が不十分との報道がなされた。
- 今回、日本医療法人協会は過去、感染が爆発的に拡大した大阪府、沖縄県、東京都のコロナ患者受け入れ状況に関してデータの確認を行った。
- 大阪府においては第3波以降は民間病院が中心になり、とくに中等症までのコロナ患者の治療を行っていた。
- 沖縄県においても、第1波から多くの民間病院がコロナ治療に参画しており、多数の患者治療をおこなっていた。
- 東京都においても、民間病院の対応数は、中小病院が多い中で、かなりの割合の患者を受け入れていたことが明らかとなった。

追加資料

(大阪府) 第1波～第5波における 設置主体別コロナ入院患者実数の1日当たり平均推定値 (軽症～中等症)

軽症～中等症	第1波※		第2波		第3波		第4波		第5波※※	
	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合
国立病院機構	13.3 人	6.5%	16.3 人	5.2%	60.2 人	7.8%	63.1 人	5.6%	48.1 人	4.4%
大学病院	1.7 人	0.8%	0.0 人	0.0%	7.4 人	1.0%	17.5 人	1.6%	13.8 人	1.2%
自治体	117.0 人	56.9%	172.5 人	55.3%	324.7 人	41.9%	341.1 人	30.4%	288.7 人	26.2%
済生会	6.3 人	3.1%	16.2 人	5.2%	54.3 人	7.0%	54.7 人	4.9%	52.6 人	4.8%
日赤	15.7 人	7.6%	10.2 人	3.3%	24.1 人	3.1%	26.5 人	2.4%	22.5 人	2.0%
JCHO	9.3 人	4.5%	5.3 人	1.7%	18.3 人	2.4%	27.1 人	2.4%	26.4 人	2.4%
民間	41.3 人	20.1%	85.2 人	27.3%	272.4 人	35.1%	568.7 人	50.7%	625.1 人	56.6%
共済組合等	1.0 人	0.5%	6.0 人	1.9%	13.8 人	1.8%	23.6 人	2.1%	26.8 人	2.4%
合計	205.7 人	100.0%	311.7 人	100.0%	775.3 人	100.0%	1122.4 人	100.0%	1104.0 人	100.0%

各感染拡大の期間（波）の定義は、大阪府感染症情報センターの分析による

○第1波： 令和2年1月29日～6月13日 ※上記患者数は第1波については、令和2年4月28日～分とする

○第2波： 令和2年6月14日～10月9日

○第3波： 令和2年10月10日～令和3年2月28日

○第4波： 令和3年3月1日～6月20日

○第5波： 令和3年6月21日～ ※※上記患者数は第5波については、～令和3年10月14日分とする

(大阪府) 第1波～第5波における 設置主体別コロナ入院患者実数の1日当たり平均推定値 (重症)

重症	第1波※		第2波		第3波		第4波		第5波※※	
	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合
国立病院機構	6.3 人	8.8%	2.9 人	7.2%	9.8 人	7.6%	16.4 人	7.2%	6.8 人	5.3%
大学病院	22.0 人	30.7%	12.2 人	30.1%	40.4 人	31.7%	57.7 人	25.1%	36.2 人	28.3%
自治体	37.3 人	52.1%	20.4 人	50.4%	60.9 人	47.7%	98.8 人	43.0%	52.1 人	40.8%
済生会	1.7 人	2.3%	1.8 人	4.4%	3.2 人	2.5%	6.0 人	2.6%	3.4 人	2.6%
日赤	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	1.2 人	0.5%	2.4 人	1.9%
JCHO	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.7 人	0.3%	0.2 人	0.2%
民間	4.3 人	6.0%	3.2 人	7.9%	13.3 人	10.4%	46.7 人	20.3%	26.4 人	20.7%
共済組合等	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	2.2 人	1.0%	0.3 人	0.3%
合計	71.7 人	100.0%	40.5 人	100.0%	127.6 人	100.0%	229.7 人	100.0%	127.8 人	100.0%

各感染拡大の期間（波）の定義は、大阪府感染症情報センターの分析による

○第1波： 令和2年1月29日～6月13日 ※上記患者数は第1波については、令和2年4月28日～分とする

○第2波： 令和2年6月14日～10月9日

○第3波： 令和2年10月10日～令和3年2月28日

○第4波： 令和3年3月1日～6月20日

○第5波： 令和3年6月21日～ ※※上記患者数は第5波については、～令和3年10月14日分とする

大阪府における コロナ患者入院数の推移

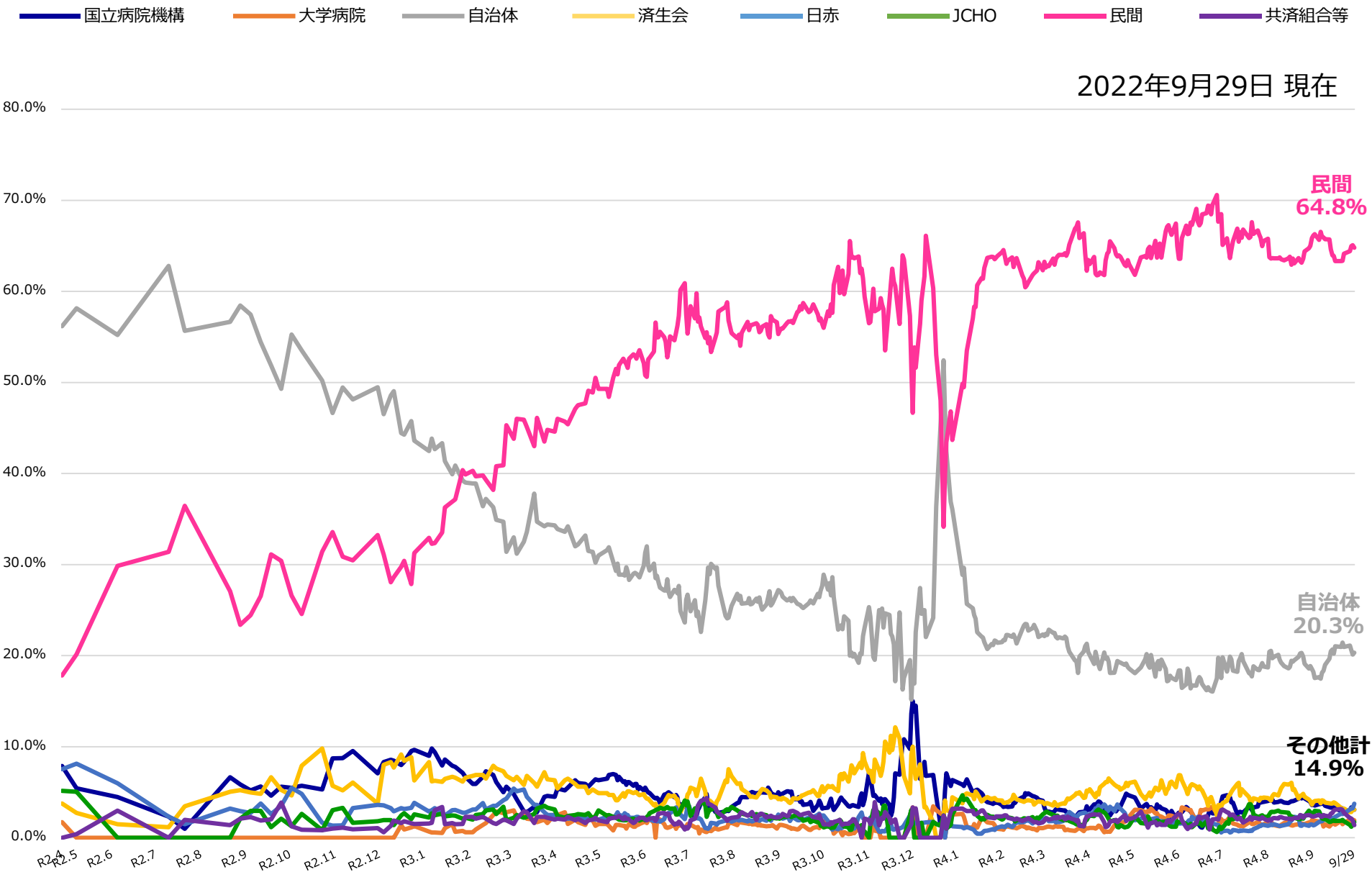
2022年9月29日 現在

【大阪府】設置主体別 新型コロナウイルス感染症患者受入状況

2022年9月29日 現在

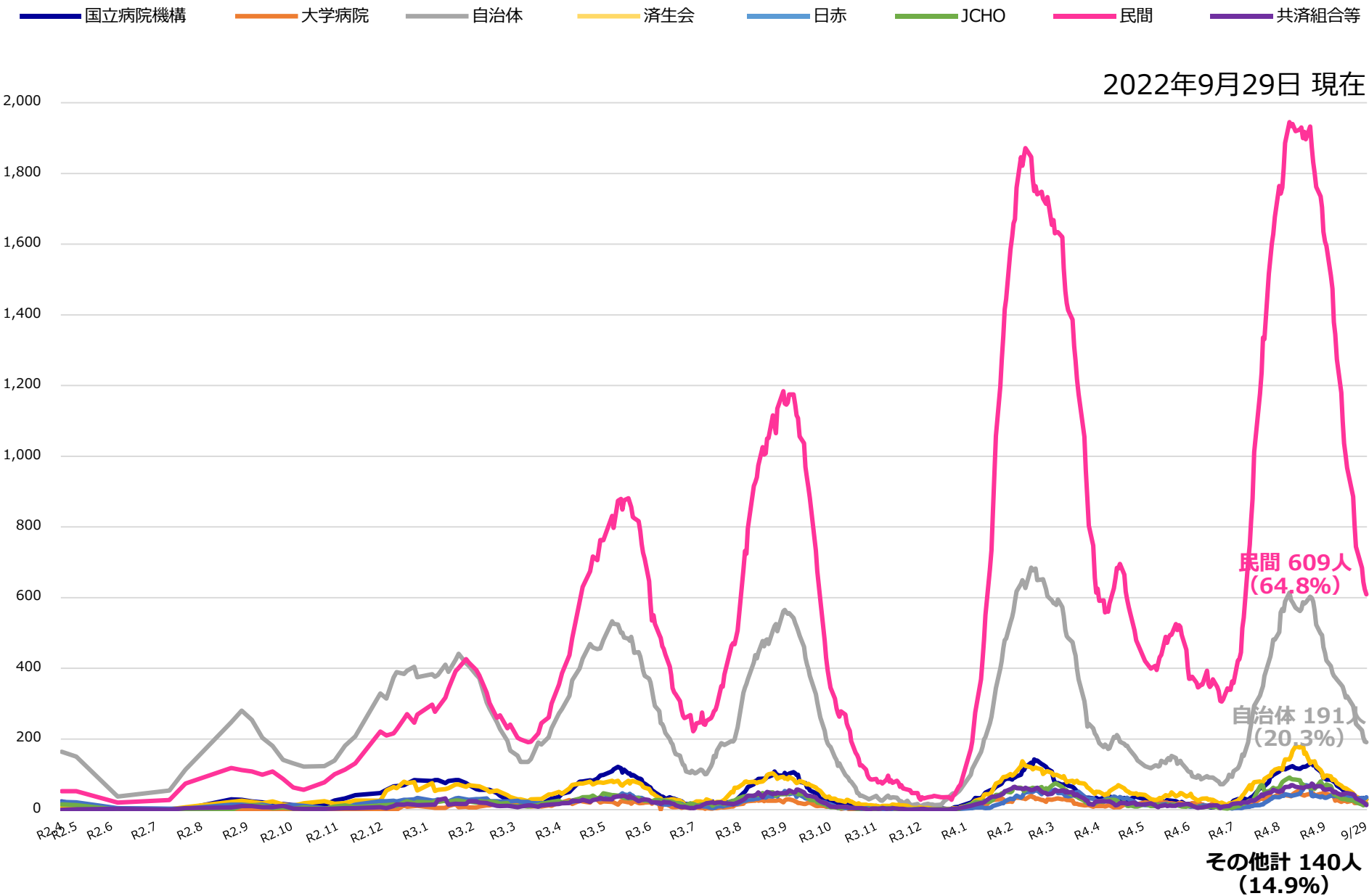
大阪府コロナ患者（軽症～中等症）入院実数 設置主体別の割合

2022年9月29日 現在



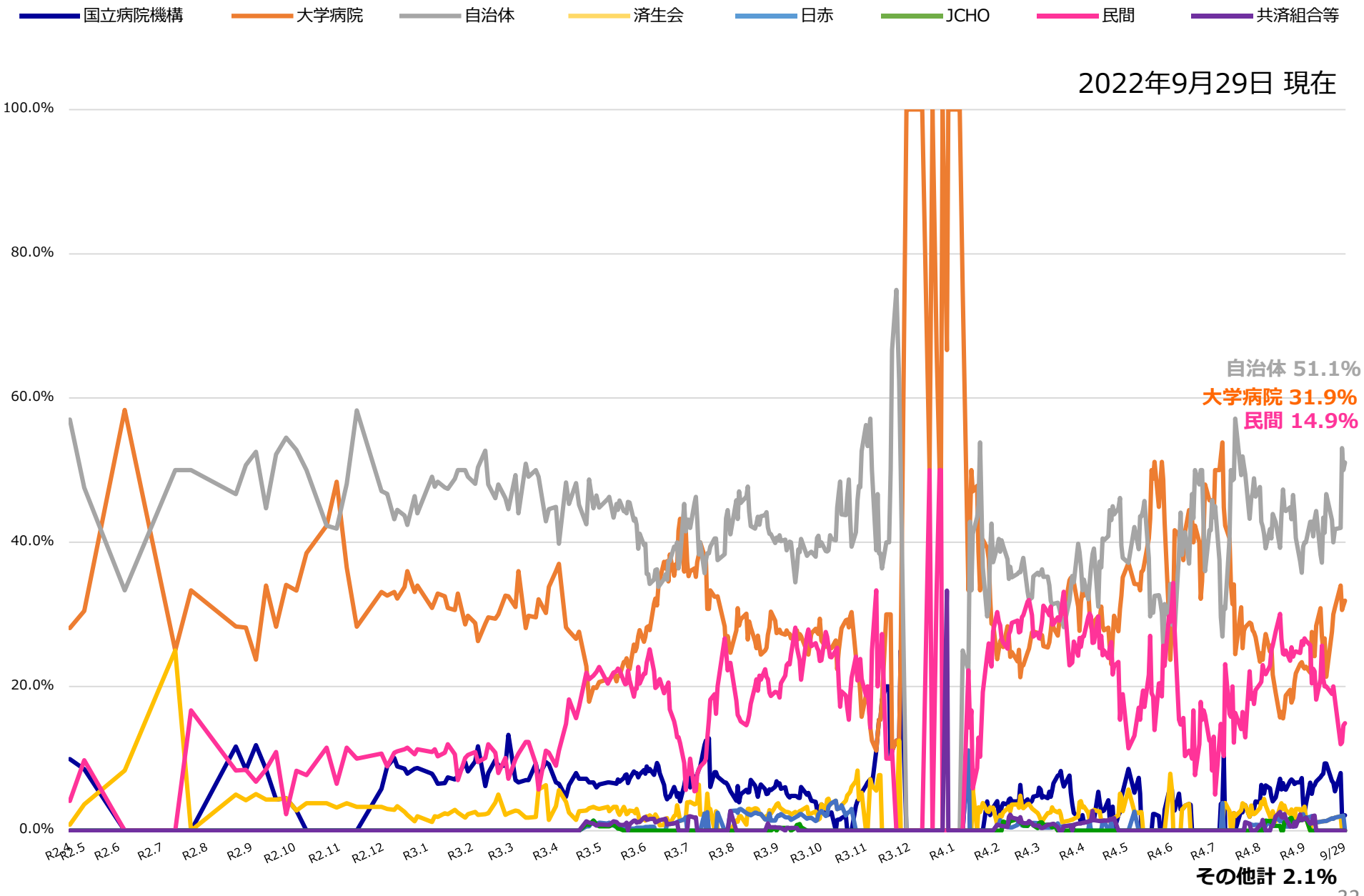
大阪府コロナ患者（軽症～中等症）設置主体別入院実数と割合

2022年9月29日 現在



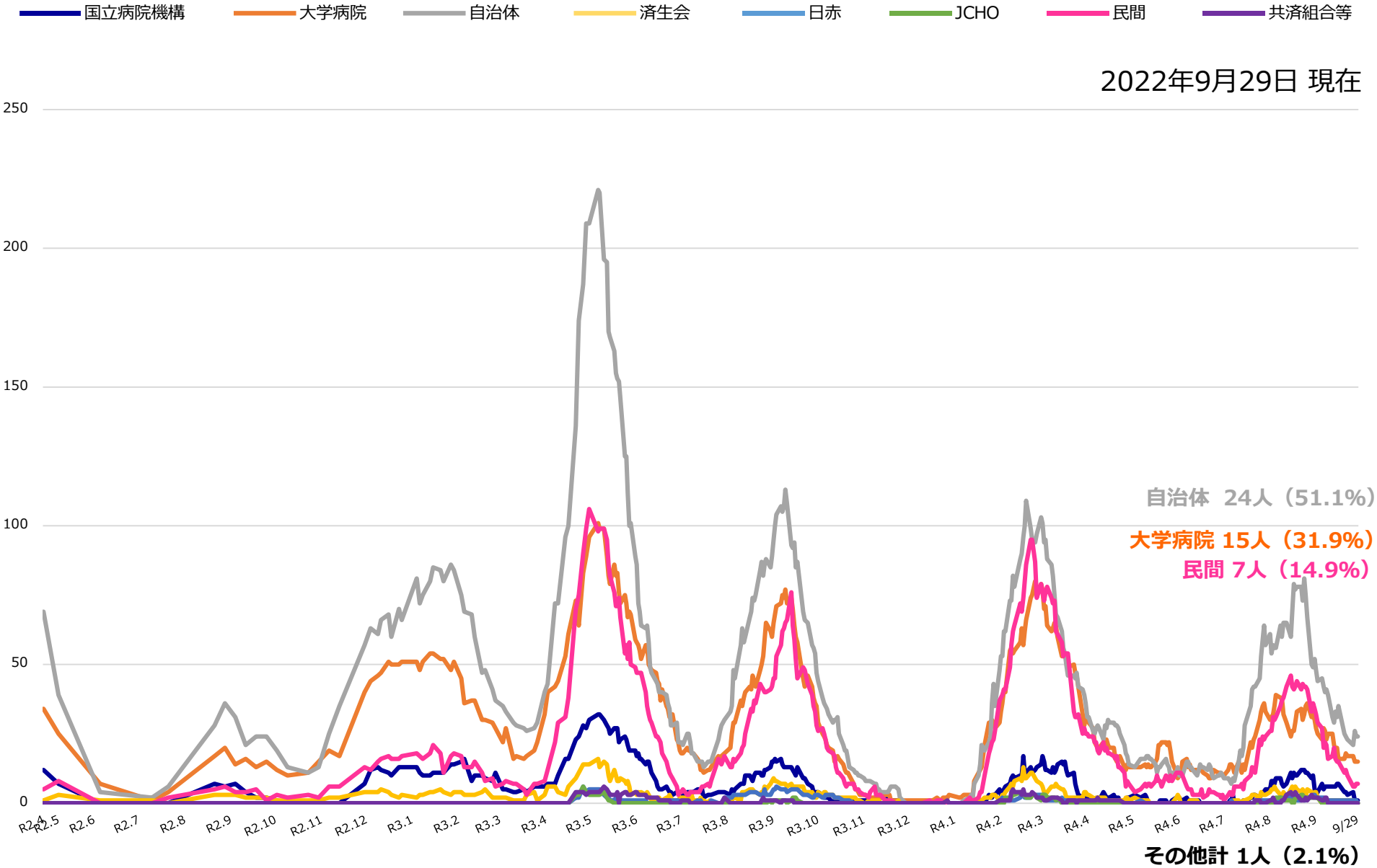
大阪府コロナ患者（重症）入院実数 設置主体別の割合

2022年9月29日 現在



大阪府コロナ患者（重症）設置主体別入院実数と割合

2022年9月29日 現在



(大阪府) 第1波～第6波における設置主体別コロナ入院患者実数の1日当たり平均推定値

軽症～中等症	第1波※		第2波		第3波		第4波		第5波		第6波		第7波※※	
	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合
国立病院機構	13.3 人	6.5%	16.3 人	5.2%	60.2 人	7.8%	63.1 人	5.6%	34.4 人	4.4%	46.0 人	3.6%	73.1 人	3.8%
大学病院	1.7 人	0.8%	0.0 人	0.0%	7.4 人	1.0%	17.5 人	1.6%	9.4 人	1.2%	18.0 人	1.4%	30.3 人	1.6%
自治体	117.0 人	56.9%	172.5 人	55.3%	324.7 人	41.9%	341.1 人	30.4%	202.8 人	25.9%	275.3 人	21.2%	373.8 人	19.2%
済生会	6.3 人	3.1%	16.2 人	5.2%	54.3 人	7.0%	54.7 人	4.9%	38.6 人	4.9%	57.6 人	4.4%	87.0 人	4.5%
日赤	15.7 人	7.6%	10.2 人	3.3%	24.1 人	3.1%	26.5 人	2.4%	15.7 人	2.0%	24.0 人	1.9%	30.3 人	1.6%
JCHO	9.3 人	4.5%	5.3 人	1.7%	18.3 人	2.4%	27.1 人	2.4%	18.2 人	2.3%	27.3 人	2.1%	46.4 人	2.4%
民間	41.3 人	20.1%	85.2 人	27.3%	272.4 人	35.1%	568.7 人	50.7%	444.5 人	56.8%	821.7 人	63.4%	1,259.3 人	64.8%
共済組合等	1.0 人	0.5%	6.0 人	1.9%	13.8 人	1.8%	23.6 人	2.1%	18.6 人	2.4%	26.6 人	2.1%	44.1 人	2.3%
合計	205.7 人	100.0%	311.7 人	100.0%	775.3 人	100.0%	1,122.4 人	100.0%	782.3 人	100.0%	1,296.5 人	100.0%	1,944.3 人	100.0%

重症	第1波※		第2波		第3波		第4波		第5波		第6波		第7波※※	
	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合	入院実数 (1日平均)	割合
国立病院機構	6.3 人	8.8%	2.9 人	7.2%	9.8 人	7.6%	16.4 人	7.2%	4.8 人	5.3%	3.9 人	4.1%	4.9 人	5.2%
大学病院	22.0 人	30.7%	12.2 人	30.1%	40.4 人	31.7%	57.7 人	25.1%	25.5 人	28.1%	28.0 人	29.2%	23.4 人	24.8%
自治体	37.3 人	52.1%	20.4 人	50.4%	60.9 人	47.7%	98.8 人	43.0%	37.2 人	41.0%	34.2 人	35.6%	41.0 人	43.4%
済生会	1.7 人	2.3%	1.8 人	4.4%	3.2 人	2.5%	6.0 人	2.6%	2.5 人	2.7%	2.4 人	2.5%	2.2 人	2.3%
日赤	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	1.2 人	0.5%	1.7 人	1.9%	0.5 人	0.6%	1.0 人	1.0%
JCHO	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.7 人	0.3%	0.1 人	0.2%	0.5 人	0.5%	0.6 人	0.6%
民間	4.3 人	6.0%	3.2 人	7.9%	13.3 人	10.4%	46.7 人	20.3%	18.6 人	20.6%	25.6 人	26.7%	20.8 人	22.0%
共済組合等	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	0.0 人	0.0%	2.2 人	1.0%	0.2 人	0.2%	0.8 人	0.8%	0.8 人	0.8%
合計	71.7 人	100.0%	40.5 人	100.0%	127.6 人	100.0%	229.7 人	100.0%	90.7 人	100.0%	95.9 人	100.0%	94.6 人	100.0%

各感染拡大の期間(波)の定義は、大阪府感染症情報センターの分析による

○第1波： 令和2年1月29日～6月13日 ※上記患者数は第1波については、令和2年4月28日～分とする

○第2波： 令和2年6月14日～10月9日

○第3波： 令和2年10月10日～令和3年2月28日

○第4波： 令和3年3月1日～6月20日

○第5波： 令和3年6月21日～12月16日

○第6波： 令和3年12月17日～令和4年6月24日

○第7波： 令和4年6月25日～ ※※上記患者数は第7波については、～令和4年9月29日分とする

第7波以降、

大阪府への報告数 と 実際の入院数 に乖離が生じた

自院患者がコロナ陽性と判明した場合の治療継続について

別紙2

自院患者

定義

- ①新型コロナウイルス感染症以外（以下「他疾患」という）の治療等のため、自院の新型コロナウイルス感染症患者等受入病床外に入院している患者
- ②自院に救急搬送され、他疾患で入院が必要な患者（圏域調整や府入院フォローアップセンターが入院調整したものを除く）

対応

上記の自院患者が陽性と判明した場合は、当該医療機関で原疾患とあわせコロナ治療の継続をお願いします
（ひつ迫時(フェーズ3以上)は、原則、確保病床外で対応。ただし、②については、圏域調整病床が空いていれば活用可）
※自院で陽性者が発生し、確保病床外で治療を継続した場合は、当該病床1床あたり休止病床2床まで（ICU・HCUは4床まで）を上限として、大阪府新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保緊急支援事業費補助金（空床補償）の補助対象とすることができます

自院患者に該当しない患者

定義

- ①現に自院に入院しておらず、他疾患で入院の必要がない患者
（発熱外来で自院を受診した患者、他疾患により外来で自院に受診している患者や、自院に救急搬送され、他疾患で入院の必要がない患者を含む）
- ②圏域調整や府入院フォローアップセンターからの入院調整により、確保病床に入院している患者

対応

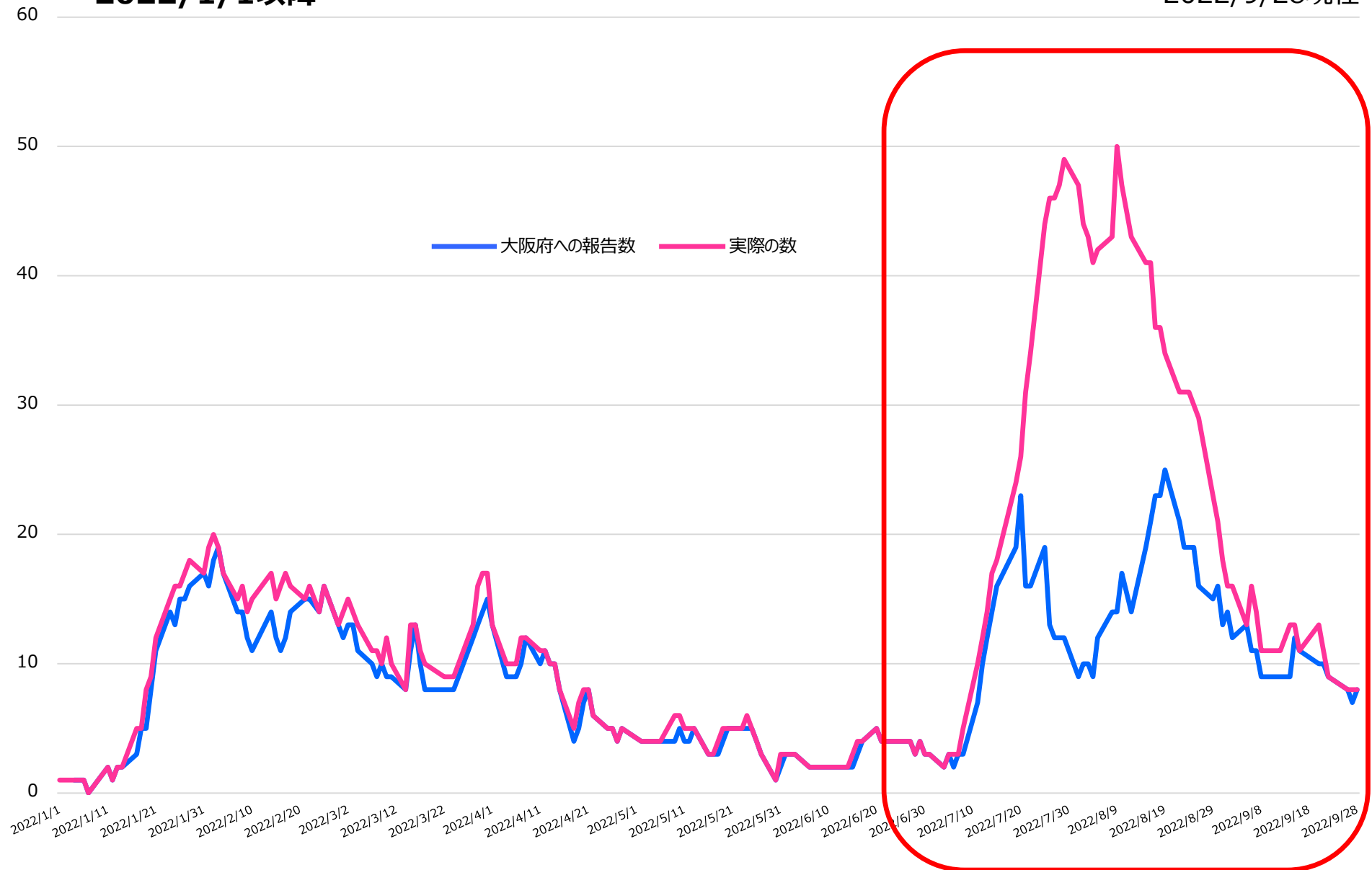
上記の自院患者に該当しない患者がコロナ陽性と判明した場合は、確保病床への入院は可能ですが、その際には、**府の定めた入院基準の順守**をお願いします

- ・ 結果、毎日報道される大阪府の病床使用率は実際より低く発表されることになり、時には100%を超えていたと思われる
- ・ 民間病院の占める割合も低く発表されていた可能性もある

加納総合病院 コロナ患者（軽症～中等症）入院数

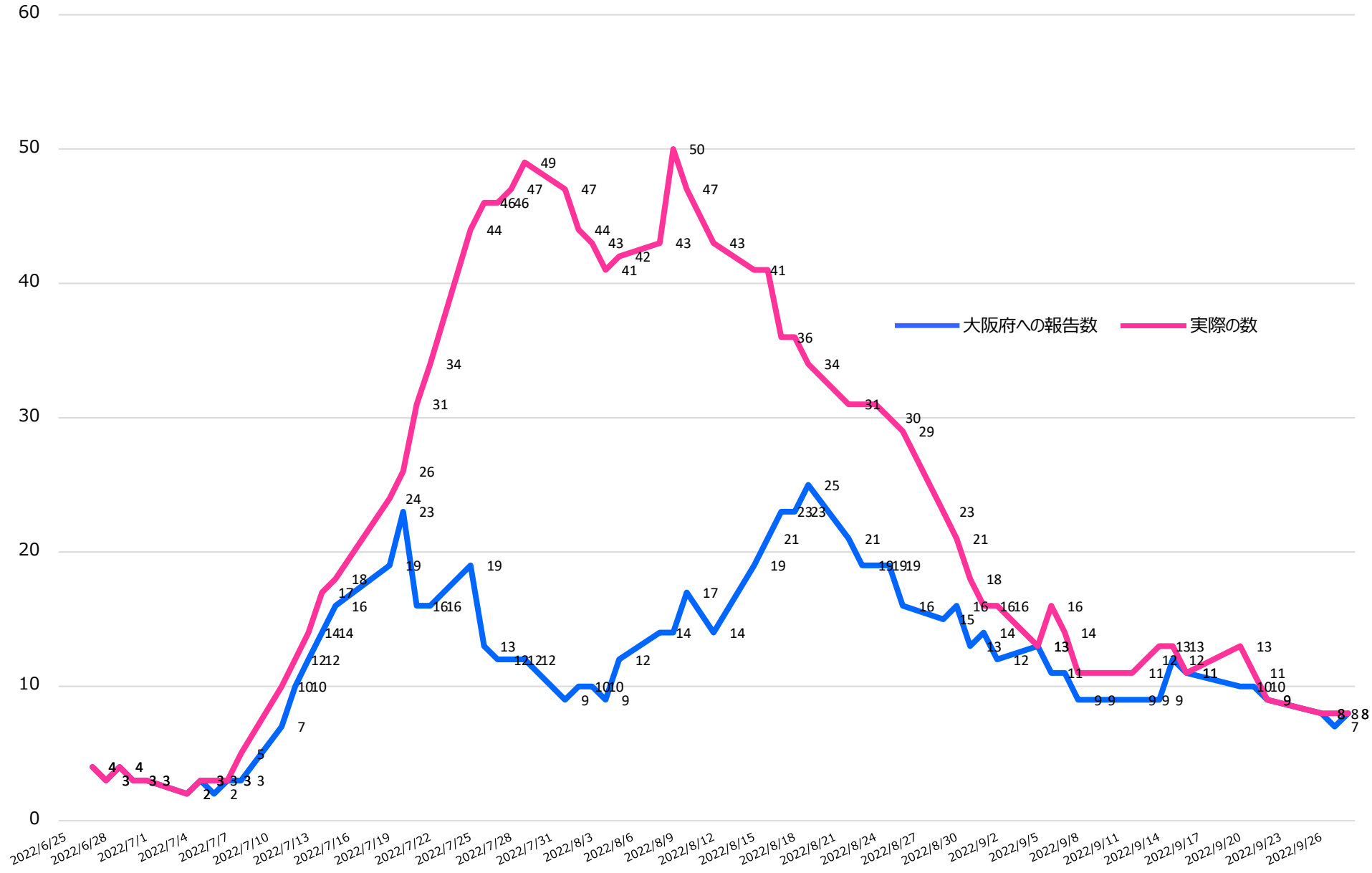
2022/1/1以降

2022/9/28現在



第7波（2022/6/25）以降

2022/9/28現在



ま と め

日本の総人口が減少してゆく中で、高齢者人口は増加してゆくわけだが、増加するのは人口密度が高い都市部が中心となる

都市部の救急搬送は**民間病院**のシェアが高く、地域包括ケアシステムの中でも、地域に根差した地域密着型2次救急医療機関として、今後も在宅医をサポートする意味でも重要な役割を担うと考えられる

また今回のコロナ禍においても、特に大阪府では2次救急病院を中心とする**民間病院**が、コロナ中軽症患者の6割以上、重症患者も2割を超える割合で受け入れることができた。まさに中心的役割を担ったわけである

今後の新興感染症への対応においても、**民間病院**の担う役割を考えた体制づくりが重要である